

## **8月21日(水)2学期始業式**

おはようございます。みんなが元気に登校してくれたことを、何より嬉しく思っています。

このあと、体育祭に文化祭と、大きな行事が目白押しです。ぜひみんなで協力して、思い出に残る体育祭・文化祭を創り上げて下さい。楽しみにしています。

さて先ほど、なぎなた部のインターハイ3位という素晴らしい報告がありました。その結果も素晴らしいと思いますが、数多くのアクシデントや苦難・困難を、チームワークで乗り越えたところに、私は感銘を受けました。

沖縄行きの飛行機が台風のために着陸できなかったこと。予選リーグで船原さんが足を骨折し、あわや予選リーグ敗退という危機に陥ったこと。決勝トーナメントで代表者決定戦にもつれ骨折を押し、船原さんが出場したこと。圧倒的な優勝候補・首里高校との準決勝など。生徒のみなさんも、いずれチャンスがあれば、詳しく話を聞いてみて下さい。長崎新聞には、価値ある銅メダルという見出しで解説してありました。

なぎなた部の皆さん、本当にお疲れさま。そしてよく頑張りました。そしてここまで来たら、9月の国体でもひとつ大暴れして来て下さい。そしていつの日にか、全国の優勝旗をぜひ勝ち取ってきて下さい。

さて、先月2年生のまつナビのフィールドワークが行われ、私もいくつかの班のフィールドワークに、参加させてもらいました。その中で、東京出身の方で松浦市の地域おこし協働隊として活躍されている方の、お話を聞く機会がありました。その方は主にふるさと納税を担当されていて、その方が担当されて以来、松浦市のふるさと納税の額は3～4倍に増えたのだそうです。実はこの地域おこし協働隊という方は、それぞれの町や地域にいらっしゃって、それぞれの地域で活躍されています。

以前私が勤めていた上対馬には、島おこし協働隊という方がいて、対馬の活性化のために一生懸命働かれています。その方は、まだ二十代の若い男性で、大学は慶応大学卒業、大学卒業後は、東京の一流の大手銀行に勤務されていたそうです。しかしその銀行を辞め、わざわざ対馬に来られたそうです。その島おこし協働隊の待遇は、一ヶ月の給料が13～4万円、任期は3年で、3年経てばどんなに頑張っても、それで終了なのだそうです。ちょうど今年の3月、任期終了ということで、松浦までわざわざ挨拶に見えました。4月からどうするのと聞いたら、慶応大学の大学院へ進んで、離島の中学生・高校生への教育について研究します、という返事でした。今の時代、高校卒業でも、15万円以上の給料を出す会社はあります。でもその方はお金ではなく、自分に何が出来るか試してみたい・自分が何かすることで誰かに喜んでもらいたいと、考えたのだそうです。

いい学校に行って、いい会社に入って、という昔ながらの構図は今や崩れています。一流の大企業の中の一つの歯車として働くのも、一つの選択です。しかし地元で、地元の活性化のために、自分に何が出来るか挑戦してみる・自分が頑張ることで地元のお祖父ちゃんやお祖母ちゃんを喜ばせる、といったことを実感する働き方もあるのです。今という時代における、最先端のトレンドは、人口減少に悩む地方都市の活性化に携わる仕事です。カフェ・ゲストハウス・グランピング・民泊と、様々な新しい試みが全国各地で行われています。

出来ればまつナビで学んだことを、大学や短大・専門学校で深く研究し、卒業後地元に戻りそれを実践する。また高校卒業後に就職する生徒も、就職先でまつナビで学んだことを生かし、それをさらに発展させた、大人版のまつナビを実践していく。そんな流れになることを、すごく期待しています。

自分たちのふるさととは、自分たちの力で活性化させる、という強い意欲を持つ生徒が育ってくると嬉しいです。松浦を・松浦高校を・長崎県を支えるのは、今ここで学ぶ、あなたたちです。2学期も元気で、多くのことに挑戦し続けて下さい。

< 補 足 >

まつナビは、地域の課題解決のための学習です。現実に今何が問題なのか・それはどうすれば解決できるのか・誰かにしてもらおうのではなく、自分にできることは何かなど、模範解答など用意されていない問題に取り組んでいきます。まつナビは高校での学習・勉強です。ペーパーテストはありませんが、様々な観点、例えば意欲・関心・態度とか、思考力・判断力・表現力とか、周囲の人と対話しつつ問題を掘り下げ深く学ぶとか、いろいろな観点から評価されます。そして当然、高い評価をもらうということは、高い学力があるということになります。人から話を聞き取ったり、資料を分析したり、多くの資料の中から関連性を発見したり、分かりやすく多くの人に伝えるためのプレゼンテーション・伝える力を工夫するなど、国語・英語・数学といった一つの教科や科目に限定した学力ではなくて、多くの教科や科目を横断する新しい学力なのです。これからの時代を生きていくあなた方・高校生は、この新しい学力を身につける必要があるのです。